

# 「スマート農業産地形成実証」 公募開始！

【公募期間】令和4年1月4日（火）～令和4年2月7日（月）正午

「スマート農業実証プロジェクト」は、ロボット、AI、IoTなどのスマート農業技術を実際に生産現場に導入し、農業経営への効果等を明らかにする実証事業です。

事業実施主体である農研機構において、実証地区の公募を開始しました。本年は、**作業集約(※1)**又は**シェアリング(※2)**によりスマート農業技術の効率的な活用に産地ぐるみで取り組む実証を公募いたします。

- ※1 中核農家がスマート農機を保有するとともに、中小農家からの作業集積を行う取組や、集落営農組織が土地集積も含め、スマート農機、オペレータ、土地利用を産地単位で一元化する取組等
- ※2 産地に密着した組織がスマート農機を保有し、農業者とともに営農計画からシェアリング計画を作成することで最適な利用調整を行う取組や、生育予測と組み合わせることで収穫機等の利用時期が限定的なスマート農機でも最小限の台数で運用する取組等

## 【応募をご検討の皆様へ】

- ・ 実証グループには「生産者」に加え、「産地を形成する農業団体」の参画を必須としております。また、作業集約やシェアリングに係る「サービス事業体」や「農業コントラクター」を活用する場合は、その参画を必須とします。
- ・ 申請は、電子申請「e-Rad」のみです。「e-Rad」の登録手続に2週間程度要する場合や、切直前につながるようになる場合があります。電子申請の最後に「承認ボタン」を押し忘れ、応募できなかった事例がありますので、ご注意ください。

※ これまでに対応が十分でない品目・分野のスマート農業技術等の開発・改良に関する研究資金（戦略的スマート農業技術等の開発・改良）は、生物系特定産業技術研究支援センターから1月中旬より別途公募いたします。



公募要領等の詳細は、農研機構（実施機関）のサイトをご参照ください。



公募の概要を説明した動画を掲載しています。こちらをご覧ください。

スマ農 公募



お問い合わせ先 <農林水産省> 農林水産技術会議事務局研究推進課  
☎03-3502-7437 E-mail : [smart\\_agri@maff.go.jp](mailto:smart_agri@maff.go.jp)  
<農研機構> スマート農業実証事業推進室  
E-mail : [R4-Teishutsu@naro.affrc.go.jp](mailto:R4-Teishutsu@naro.affrc.go.jp)